

■報告

第26回 防災セミナー
宮城県に学ぶ震災復興

「東日本大震災」から3年8ヶ月経過した宮城県の復興状況の報告です。講演は、宮城県土木部長の遠藤信哉氏と宮城県東松島市に災害派遣応援で出向していた北海道 札幌建設管理部の松本範之氏の2名の方がされています。どんなに大きな災害でも時間が経つと忘れられていきますが、当日は100名以上の参加者があったとのことで、この震災に対する感心の高さが分かります。講演の内容では、震災復興の「宮城モデル」を構築して、この復興の実績を全国、後世に伝承したいとあり、復興を担当する方々のたくましさを感じられました。今後の震災復興が、順調に進みますよう祈念いたします。

(Y.K 血液 AB 型)

■私のプロジェクト X

非常に立派なプロジェクトエックスである。これぞ本物の技術士による技術史である。実は私も書いたことがあるが、思いの外大変な作業だったことを記憶している。ご苦労様でした。投稿仲間の Y.K. さんから聞くところによると「読者の声」はこれが最後になるらしい。そういうことなのでもういいかと思っていたら Y.K. さんの原稿一つだけらしく、寂しいから書いてくれませんかと頼まれたので仕方なく書くことにした。

もうお分かりのことと思うが、裏話をすると実は私と Y.K. さんはこのコーナーのサクラである。しかも、私たちはそういうことをしてはいけないということを議論している会に所属しているのである。私は Y.K. さんと同じ会に入ってから6年間一回も欠かさずに書き続けた。読書感想文みたいにかくのではおもしろくないので極力ジョークを入れるようにした。時にはそれがきつすぎて書き直しを命ぜら

れたことも多々ある。

一番ひどかったのは、「暮らしにくい気候ではあるが、自然豊かな町なので移住を募集している」とあったので、「北海道には自然豊かな所は他にも一杯あるので、暮らしにくいなら移住など募集せずに町民全体が移住してその町を自然に返してあげてはいかがですか」、と書いたら、おせっかいがひどすぎると言われて即却下となった。それ以来ペンネームを「いつものおせっかい男」とした。そうか、このコーナーも終わるのか。Y.K. さん長い間お疲れ様でした。おせっかい男も退散します。

(いつものおせっかい男 MS)

編集担当より

コンサルタンツ北海道に対する皆様からの感想を掲載してきた“読者の声欄”ですが、本号を最後に終了いたします。これまで投稿いただいたみなさま本当にありがとうございました。

そして、今回も投稿してくれた“いつものおせっかい男 MS”さんと“Y.K 血液 AB 型”さんは“いつものおせっかい男 MS”さんの投稿にもあるとおり、一般読者ではなく、固定モニター(自称サクラ)でした。このため、本人達的意思によらず、毎号かかさず投稿していただいたわけですが、今まで本当にお疲れさまでした。これからは投稿の責務は気にせず、一般読者としてコンサルタンツ北海道を楽しく読んでいただきたいと思います。

なお“読者の声欄”は終了いたしますが、みなさまからの各種投稿やご意見は随時受け付けておりますので、巻末の“コンサルタンツ北海道 投稿のお願い”を参照いただき、投稿をお願いいたします。